

コイのヘルペスウイルス(KHV)病に注意してください

長野泰三 主席研究員(魚病研究室)

全国各地で発生していたコイ(マゴイ、ニシキゴイ)のヘルペスウイルス病が本県でも発生し、被害が出ています。この病気は法律による特定疾病となっており、次の点に十分注意していただくようお願いします。

なお、この病気は病魚に触ったり食べても、人に感染することはありません。

河川や池において

- ・当分の間、河川や池などへのコイの放流は行わないようにして下さい。
 - ・もし、コイを放流する場合は、そのコイがKHV汚染水域から移入されたものではないことや汚染水域と水を介しての接点がないことを確認するとともに、PCR検査*で陰性であることを確認して下さい。
 - ・河川や池で釣るなどして捕獲したコイを、他の水域へ移動させないで下さい。
- *PCR検査・・・遺伝子診断法:病原体の特異的遺伝子を検出する方法

自宅でコイを飼われている方へ

- ・当分の間、コイの移動(特にKHV病の発生が確認された地域)は行わないようにして下さい。
- ・コイが死んだ場合は、死亡魚を放置したり河川や水路などへ投棄せず、直ちに密封のうえ生ゴミとして処分して下さい。
- ・飼っているコイを河川や池などへ放流することは、行わないようにして下さい。

○異常が見られた場合は、次の担当までご連絡をお願いします。

- ・河川や池などでコイに異常が見られた場合

環境管理課 (087-832-3218)

水産課 (087-832-3471)

近くの保健所

東讚保健福祉事務所 (087-831-1531)

中讚保健福祉事務所 (0877-24-9966)

西讚保健福祉事務所 (0875-25-6431)

小豆総合事務所環境管理室 (0879-62-2731)

高松市環境保全課 (087-839-2393)

- ・飼育しているコイに異常が見られた場合

水産課 (087-832-3471)

水産試験場 (087-843-6511)

(この病気の潜伏期間は水温が18℃～25℃で2～3週間とされていますが、水温低下により潜伏期間が長期化し、春に水温が上昇して発生する可能性もあります。今後ご注意ください。)

(参考)コイヘルペスウイルス病とは

- 1 原因(病原体) KHV(Koi herpesvirus)と呼ばれるウイルス
- 2 感受性魚種 コイ(マゴイ及びニシキゴイ)
- 3 症状 行動緩慢、摂餌不良になるが、目立った外部症状は少なく、鰓の退色やびらんなどが見られ、死亡率が高い。
- 4 感染経路 コイヘルペスウイルス病に感染したコイ(マゴイ又はニシキゴイ)との水を介しての接触により感染する。
- 5 潜伏期間 18℃～25℃においては2～3週間とされている。ただし、水温低下により長期化する可能性もある。
- 6 発生状況
 - (1)外国 イスラエル、英国、ドイツ、オランダ、ベルギー、米国、インドネシア及び台湾
 - (2)国内 平成17年6月3日現在、山口県、愛媛県、高知県を除くすべての都道府県で発生が確認されている。

培養細胞によるウイルス検査およびPCR検査

- 7 診断法 * PCR検査・・・遺伝子診断法：病原体の特異的遺伝子を検出する方法
- 8 治療法 現在のところ治療法はない。
- 9 その他 コイ特有の病気であって、コイ以外の魚や人への感染はない。

本病は、持続的養殖生産確保法(平成11年法律第51号)における特定疾病に指定されており、発生した場合は、同法に基づく、まん延防止措置(移動制限、焼却等)の対象となる。